

ネイチャーセンター ガイド (119)

モグラを追いかける犬「ＪＪ」(ジェイジェイ)

冬になると犬を散歩させる機会がたくさんある。実際、夏には犬をかまうより、人にかまわれる仕事柄、その間、犬と戯れられない罪悪感に襲われる毎日なのだ。この罪悪感を冬まで背負い、罪悪感をなくすために散歩を続けている。罪悪感は結構消えないものだ。今でも消えていない。

人からみれば犬を散歩させないでいれば、犬を飼う意識も問われるし、犬を本当に好きなのかというバッシングを受けてもおかしくない状況である。しかしながら恵まれているところがある。共に働くおじさんやおばさんたちが声をかけてくれたり、餌をあげてくれたりと、世話になっている。本当に世話になりっぱなしだ。みんなにとっては、犬を世話しているのではなく、私を世話している意識のほうが強いのではと思う。犬より「世話がやける」私である。

今年はモグラのトンネルがやたらと芝生の広場にできている。見た目にも分かるが、足裏の感覚でトンネルを発見できるようになった喜びを山の中で一人噛み締めている。

先日、ＪＪがモグラのトンネルを掘りはじめた。観察するのが大好きなので、いつも放っておく。いつもと表情が違うのも分かるし、夢中で楽しそうだ。

その場所を通れば、必ず掘りはじめる。鼻先を地面にこすりつけ、前足を上手に使い、掘る。それを何回も繰り返す。10分ぐらいすると突然我に返り、遠くを眺め、鼻息を強く2、3回。鼻

の穴に入った土を払っているようだ。

私は土の中にモグラがいるのかどうか気になっている。ＪＪが掘っているとつい想像してしまう。突然の珍入者にモグラもびっくりして、地中に張り巡らされたトンネルを逃げているのか？トンネルに漂うモグラの「臭い」を追いかけているのか？土を掘り起こすのとモグラが逃げるのではどちらが速いのか？とても気になる。とは言っても実験をするつもりはないが、想像するのは面白い。そんなことに意味や価値があるかどうか、そんなことは分からないが、いつの日か見かけてみたい、ただそれだけだ。

価値と好奇心は相容れない。その場面をみて、その行動に対して、人はどう感じるのか？自分で確かめているだけ。それにはたくさんの時間を要し、これぐらいの時間でできますなんて、容易には言えないどころか、分からない。

「もの」から何かを感じとることを人は忘れてしまった。とことん手段や手法にこだわり、価値判断を感わせ、麻痺させる。人は、感じ取ったものを表現できる生き物。例え嘘でも本当でも、その感じたものを言葉や活字にできるのだ。「もの」を見続ける行為。皆さんは、目の前にある「もの」を見続け、考え、表現できるだろうか？ハイスピードな情報社会に飲み込まれていないだろうか？私は飲み込まれそうな毎日を過ごすが、山での暮らし、動物たちとの駆け引き、焚き火をしたりすることで、自分を取り戻す。どうやら理屈はいらないようだ。

連絡・問合先 ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝日の翌日

時間外の 窓口業務を拡大

8月1日からの毎週水曜日、市民生活課、税務課で取り扱いをしている窓口業務を午後7時まで延長してきました。

1月からの毎週水曜日は、新たに市民生活課国保医療担当で取り扱っている次の窓口業務を行います。

- 新たに取り扱う業務
- 国保資格の取得喪失受付
- 高額療養費(医療費)の申請受付
- 療養費申請受付
- 乳幼児医療費助成申請受付

既に取り扱いしている業務

- 住民票関係 写しの交付、除票記載事項証明書の交付
- 戸籍関係 謄本・抄本、附票の写しの交付、身分証明書の交付
- 印鑑登録関係 印鑑登録、印鑑登録証明書の交付
- 外国人登録関係 原票記載事項証明書の交付
- 税務証明書関係 所得、課税、納税、固定資産評価証明書の交付
- 原動機付自転車などの手続き
- 市税の納付、納税相談
- 各種届け出の受け付け 法人設立、変更、廃止届出

問合先 市民生活課 税務課